

学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立只見小学校
授業者	徳永 千聖

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

もっと しりたい つたえたい ただみ

1-2. 学年

第1・2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

本単元では、自分が生活している只見には、水という大切な資源が身近にあり、それによって豊かな自然、多様な動植物が支えられていることに気付けるようにしたいと考える。また、只見町の一員として地域で生活していること、地域の人々の温かさにも気付けるようにしたい。

子供たちは、これまでのまち探検で、草笛を作って遊んだり、生き物をじっくり観察したり、川の流れや水害の跡を見たりしながら、只見を見て感じる機会を大切にしてきた。

本単元では、子供たちが興味・関心を示したブナセンター見学、キャンプ場での散策、J-POWERの方から話を聞く機会を作り、1学期の学びをより深めようと見学活動を行う。さらに、見学などでお世話になった方をゲストティーチャーとして招き、これまで見たり、体験したりしてきたことを発表する。各グループで表現作品を使って発表したり、発表を聞いてくれた人から感想を聞いたりする中で、人々と関わり、伝え合うことの楽しさや地域への親しみ、愛着をもたせたい。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元は、1学期のまち探検で見つけた場所をもう一度訪ね、自然と触れ合うだけでなく地域の人々との関わりをもつことで、さらに只見の自然の豊かさや人々の温かさを実感できるようにすることがねらいである。

1学期に学校の周りの散策やまち探検で堀や川、用水路などを見て、田畑へ水が流れていることや只見川とつながっていることに気付くことができた。そこで2学期は、ブナセンター見学などから、只見に豊かな自然と多様な動植物が生息しているのはきれいな水が関わっているということに気付くことができるようにした。2年生は、昨年の生活科の学習から、川の流れやダムなどに興味をもっている。只見のダムを知りたいという2年生の思いからJ-POWER（電力開発株式会社）の方から話を聞き、学習を進めていく。まち探検で見つけてきた只見のことを表現作品にまとめ、そこでお世話になった人々とのつながりを大切にすることにより、只見に親しみや愛着をもつことができるようにしたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

まち探検やキャンプ場での散策，ダムで働いている方へのインタビューを通して，自分たちの住む只見町のすてきな自然や人々について考えることができ，その豊かさや温かさなどがわかり，只見に対しての親しみや愛着をもつことができるようにする。

1-7. 単元の展開（全15時間）

評価の観点 ア 知識・技能 イ 思考・判断・表現
ウ 主体的に学習に取り組む態度

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	1学期のまち探検を想起し，詳しく調べたいことや改めて探検したい場所を決める。	ア 地図を見ながら話し合い，詳しく調べたいことや聞きたいことを考えることで目的をもち，見学学習ができる。 (観察)
3	見学へ出かけ，わかったことをまとめる。	ア ブナセンターを見学してわかったことなどを絵や文にまとめ，共有することで，只見の豊かな自然と多様な動植物に気付くことができる。 (観察・発言) ○ 外部連携：ブナセンター
3	見学へ出かけ，わかったことをまとめる。	ア キャンプ場散策をしてわかったことなどを絵や文にまとめ，共有することで，只見の豊かな自然と多様な動植物に気付いたり，秋を感じたりすることができる。 (観察・発言) ○ 外部連携：キャンプ場
3	ゲストティーチャーから話を聞き，わかったことをまとめる。	ア J-POWER 田子倉発電所の方の話を聞き，わかったことなどを絵や文にまとめ，共有することで，只見にあるダムの特徴や人々の暮らしを支えていることに気付くことができる。(観察・発言) ○ 外部連携：J-POWER 田子倉発電所
4	見学してわかったこと，気付いたことを話し合い，グループごとに表現作品を作ったり，まとめたりする。	イ 詳しく調べたことについて，ポスターや作品などに表現し，まとめることができる。(観察)
1	ゲストティーチャーや保護者を招き，見つけてきた只見のすてきな自然や場所を伝え合い，気付いたことをまとめることで只見の自然や人々のよさを見つける。	ウ わかったことを伝え合う活動を通して，只見に親しみや愛着をもつことができる。 (観察・ワークシート)

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

2-2. 本時の目標

まち探検で気付いたことを友達や地域の人に伝え合うことを通して、さらに只見に親しみや愛着をもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までを振り返り、本時のめあてをたてる。</p> <p><input type="text" value="ただみのよいところを たくさん みつけよう！"/></p>	<p>○ まち探検で見えてきた場所や前時までの発表作品作りを振り返り、本時のめあてを確認する。</p>
<p>2 ゲストティーチャーとの関わりについて確認する。</p>	<p>○ お世話になったゲストティーチャーに発表を聞いてもらうことで、伝えたいという思いを高める。</p>
<p>3 グループごとにまとめたこと、作ったものを発表し、ゲストティーチャーから感想や補足説明をいただく。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自然グループ → ブナセンター職員からの感想等・ 生き物グループ → ブナセンター職員からの感想等・ ダムグループ → J-POWER職員からの感想等	<p>○ ゲストティーチャーや保護者の方々に伝わってきた只見のよさという視点で子供たちの発表を称賛してもらうことで、自然の豊かさや人々の温かさを実感し、さらに只見に親しみや愛着をもつことができるようにする。</p> <p>○ 各グループの発表後にゲストティーチャーからの話を聞くことで、只見にはさらによいところがあることを実感することができるようにする。</p>
<p>4 伝え合う活動を通して、わかったこと気付いたことや感じたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>○ 友達の発表やゲストティーチャーの話を聞いて、気付いたことや感じたことをワークシートにまとめることで、只見のよいところを実感できるようにする。</p> <p>〈評価〉 わかったことを伝え合う活動を通して、只見に親しみや愛着をもつことができる。 (観察・ワークシート)</p>

3. 今回の活動の自己評価

- わかったことなどを子供たちなりの工夫で楽しく発表することができた。
- 生き物のことを詳しく調べてあり、発表の中で、五感で感じたことを伝えることができているよかった。
(パリパリ等の草を踏む音など)
- 一方的に伝えるのではなく、発表の中で相互に思いや考えなどと交流するためのコーディネートを工夫していく必要があった。
- 保護者からの意見を子供たちの活動に活かしていくことができると、さらに学んだことが子供たちの実感をともなった理解につながったと考える。



4. 今後の課題

子供たちは、発表を聞いているだけでは内容を捉えにくいので、振り返りの際に子供たちがしっかりと学びを思い返し、学習内容が身に付くように、教師が発表のポイントを板書するなどの手立てを講じていきたい。

ゲストティーチャーの活用の仕方(引き立て方、立ち位置等)もさらに工夫し、子供たちの学びに活かしていきたい。



5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。